

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## Hyundai Card Co., Ltd.（証券コード：－）

### 【新規】

外貨建長期発行体格付 **A+**  
格付の見通し **ポジティブ**

### ■格付事由

- (1) 韓国最大の自動車メーカーである現代自動車（HMC）グループ（HMG）傘下の大手クレジットカード会社。国内リテール向け中心にカード事業や融資事業などを展開している。JCRでは、HMGのグループ信用力を「A+」相当とみている。HMGとして当社株式の78%を保有し、複数名の取締役がHMG出身者であるなど、経営管理の一体性が強い。また、HMGにおいて、当社は金融面から自動車販売のサポートを担うなど戦略的および機能的重要な位置付けにあることなどから、当社の格付はグループ信用力と同水準としている。見通しはHMCに対する評価を反映したものである。
- (2) 当社は01年10月に大宇グループからHMGに買収され、現名称へ変更している。韓国第3位の財閥であるHMGは、かつて韓国最大の財閥であった現代財閥から00年に分離独立して誕生した。HMGのグループ信用力は、①国内自動車市場における極めて強固な事業基盤、②地理的に分散された生産・販売体制、③良好な財務基盤などを評価している。近年、HMGは海外での生産・販売を積極的に拡大し、22年の世界自動車販売は第3位へ躍進している。
- (3) カード事業は高い市場地位と競争力を有する。カード会員数は23年6月末で1,179万人、加盟店数は300万店超、取扱高は業界平均を大きく上回る。15年に業界初の企業とコラボレーションしたカード事業（PLCC）の立ち上げが奏功し、近年の会員増加に寄与している。23年には韓国初でアップルペイを導入したほか、HMCやKiaなどHMGの顧客基盤の活用を強みに、今後も事業基盤の拡充が進むとみている。収益力は比較的高く、近年のROA（分子：経常利益、分母：総資産平均）は1～2%を確保するなど安定的に推移している。
- (4) 資産の質はおおむね良好である。営業資産は小口分散の効いたカード債権が主体となっている。与信運営方針は保守的である。23年6月末の延滞率は0.70%、不良債権比率は0.69%と低位で安定している。他方、金利高の長期化に加えて物価上昇や不動産市況の再調整など事業環境が悪化しており、家計債務の健全性低下などには注意を要する。
- (5) 資本充実度は比較的高い。23年6月末の修正自己資本比率は金融サービス委員会のガイダンスである8%に対して17.3%、レバレッジ比率は同ガイダンスの7倍に対して6.0倍と一定の水準を保っている。保守的なリスク管理態勢の下、良好な資本充実度が維持されている。ウォン流動性比率は同ガイダンスの100%に対して400%超となっており、流動性に特段の懸念はない。資金調達には社債を中心に直接金融調達基盤を構築しているほか、ABSやCPなど多様な調達手段を有している。

（担当）利根川 浩司・上野 倫久

### ■格付対象

発行体：Hyundai Card Co., Ltd.

### 【新規】

対象	格付	見通し
外貨建長期発行体格付	A+	ポジティブ

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年11月20日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：杉浦 輝一  
主任格付アナリスト：利根川 浩司
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「クレジットカード・信販」(2022年6月21日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) Hyundai Card Co., Ltd.
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル